

# 知恵キラリ

キラッとひかる  
企業の知恵をご紹介



代表取締役の佐藤健郎さん

## “結び”の技を添えて 商品に魅力的な彩りを



### サトヨシ株式会社

(代表者) 佐藤 健郎  
(住 所) 京都市西京区桂良町16  
(TEL) 075-391-7111  
<http://www.satoyosi.com/>

(事業内容) 組紐、ゴム紐、リボン等の卸売、加工業

結びの加工技術を極め  
綴じる紐に新たな価値を  
プラス

創業当初は包装用のゴム紐や組紐、リボンなどの卸売が中心だったが、似たような商品が市場にあふれる中、お客様から個性あるパッケージで差別化を図りたいという要望が増えてきたことから、当社が抱える20人以上の内職(委託加工者)と、「紐を結んで加工する技術を磨き上げてきた」と佐藤健郎さん。

二重結びや片蝶結び、本結びといった多種多様な結び方はもちろん、輪の大きさ、垂らしの長さ、房の有無など、お客様の細かなニーズについてそれぞれ手書きのマニュアルを用意し、加工手順や規格、注意点などを明らかにして、作業の効率化と仕上がり品質の均一化に取り組んでいる。機械では難しい注文にも柔軟に対応できるのが手作業の強みで、これまで卸売で培ってきた豊富な仕入れネットワーク(品揃え)に新たな加工技術をプラスすることで、「どのような素材、結び方にも応える自信がある」と胸を張る。

## 強みを形にした ブランド展開で 埋もれたニーズを 引き寄せ商機を拡大

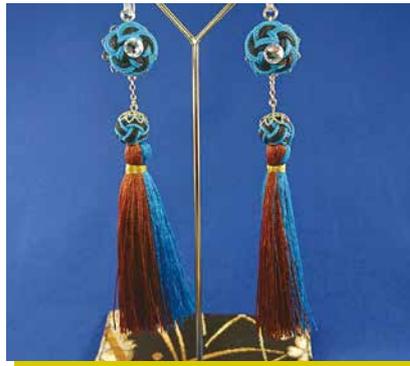
今から3年前、自社ブランドである「京都のゆい」を立ち上げた。金銀、紅白など多種多様な組紐を、梅結びや亀結び、総角(あげまき)結び等で美しく装飾加工したもので、イヤリングやネックレスのチャームとして買い求めていく若い女性客も少なくないという。デザイン展などのアートイベントにも出品し、来場者から好評を得ている。

同社の個性的なブランド商品が注目され、アニメグッズを取り扱う会社との取引の機会も増えつつある。組紐の色目や形、長さ、結び方をアレンジし、人気アニメのキャラクターイメージに合わせたヘアバンドやイヤリングをOEMで受注生産するなど、「京都のカルチャーであるアニメとコラボし、当社の結び加工の強みを発信していく」と佐藤さんは話す。

最近では、メーカーと共同で、御朱印帳を綴じるバンドの開発にも取り組んでいる。結び目に五色の房をつけて高級感を演出したり、組紐にゴムを結わえて伸縮性を持たせたり、専門的な知識とノウハウ、豊富な在庫を生かしたも



ベテラン職人による丁寧な手仕事



自社ブランド「京都のゆい」の商品



色とりどりの結び加工紐

のづくりでビジネスのすそ野を広げようとしている。

## 小ロットの ものづくりを生かし インターネットで B to Bの受注を増やす

インターネットを活用した情報発信にも力を注いでいる。「精密機械を洗浄するブラシをモールドで作れないか?」という思いもよらない相談が寄せられ

るなど、オーダーメイドで小ロットの結び加工に応えることで、全国の小売店や工場、生産者などからダイレクトに注文が舞い込んでいる。問い合わせの半数が実際の取引につながり、そのうちの7割がリピーターになってくれているという。

「今まで捨てられていた紐に、作品としての価値を持たせたい」と佐藤さん。熟練された指先から生み出される結びの数々が、パッケージや装飾品の個性をきらりと輝かせる。

解説!!

## 知恵のポイント

### Point.1 卸売×加工の強み

多種多様な紐の仕入れが可能な卸売業の強みと、機械では難しい結びでも対応できる手作業の加工技術を掛け合わせることで、お客様のニーズにかなう小ロットで付加価値の高い商品を提供する。

### Point.2 加工技術のスキル向上

お客様の注文に応じて作業のマニュアルを用意し、経験の浅い内職でも無理なく結びの技術が習得できる仕組みを整える。高度な加工ニーズに対しても、品質にばらつきなく迅速な対応が可能に。

### Point.3 提案型の自社ブランド

自社ブランドをデザイン展やインターネットなどで発信し、結び加工の技術を具体的な形で提案することで、アニメ関連の会社などの関心を引き寄せ、新たなキャラクターグッズ等の発注へとつなげる。

応援  
します!

経営革新・知恵の経営に取り組む企業のご相談にお応えします。  
【相談無料】TEL.075-341-9781  
中小企業支援部 知恵産業推進課